

2012年(平成24年)

12月19日

水曜日

The Chitose Mimpo

千歳民報

遺品整理士認定協会

遺品の扱い重点的に

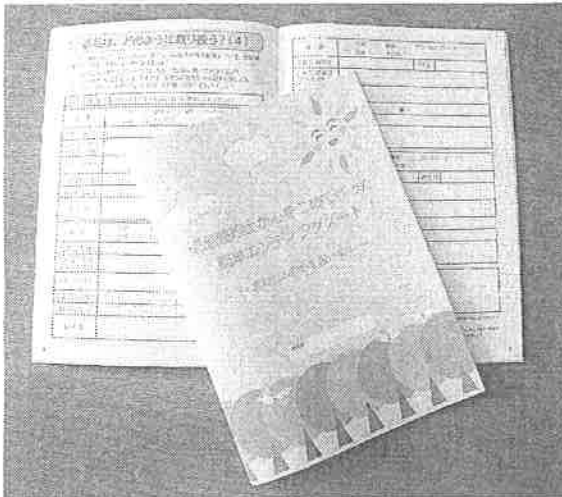
エンディングノート作製 緊急時の連絡先欄も

亡くなった人の遺品を整理する民間資格「遺品整理士」の普及に努める遺品整理士認定協会(千歳市)は、エンディングノートを4000部作製した。希望する高齢者福祉施設や病院、葬儀社などに無料で配付するという。

エンディングノートとに伝えるノートのこと。

は自身の死後に備え、交友関係といった生前の記録と遺産相続や葬儀内容などの希望を事前に記し、残された家族・友人

同協会のエンディングノートは、遺品整理士の意見を反映させて完成させた。B5判の20ページで、うち故人の思い出の品と



遺品の取り扱いについてのページを多くしたエンディングノート

なる遺品取り扱いについてのページが全体のほぼ半分を占めているのが特徴だ。この他、家族へのメッセージ欄や緊急時の連絡先などを記述するよ

うになっている。

木村栄治理事長は「生前から死後のことを考えることで、社会との絆を見詰め直すきっかけになり、孤独死の防止につながる」ことができた」と話している。

問い合わせは同協会
電話0123(42)0528。